

日本エレベーター協会委員会及び支部の紹介

業務委員会活動紹介

1. 委員会の役割

昇降機事業に関する法令・法規等への対応検討及び当協会事業計画の実行支援等を行います。

2. 最近の活動内容

2.1 産業競争力強化法への対応

政府は、アベノミクスの第三の矢である「日本再興戦略」に盛り込まれた施策を確実に実行し、日本経済を再生し、産業競争力を強化する事を目的に、2014年1月20日に産業競争力強化法を施行しました。

昇降機もその対象となり、先端設備に該当し、かつ税法上の要件を満たせば「生産性向上設備投資促進税制」が適用され、設置者は税制優遇を受けられることが決まりました。

それに伴い、当協会は経済産業省から昇降機の証明書書団体である工業会に指定され、2014年7月22日より証明書発行依頼の受付を開始しました。

2.2 定例事業の開催

当委員会は、当協会が主催する定例事業の中で、若手技術者を対象とした昇降機基礎教育講座と、経営・管理層を対象とした社会・経済講演会を企画開催しています。

(1) 昇降機基礎教育講座

本講座は、毎年東京と大阪で開催しており、主に「協会活動」、「昇降機概論(歴史・構造・地震対策等)」、「昇降機に関する法律解説等」の内容として、毎回多くの若手技術者が受講しています。

2014年度は、東京で2014年11月26日、大阪で2014年11月28日に開催し、協会会員の若手技術者165名が受講しました。

当協会は、会員各社の昇降機の安全安心に向けた技術力向上を目指し、支援しております。

(2) 社会・経済講演会

本講演会は、毎年社会ニーズにマッチしたテーマを選択し、東京で開催しています。

最近では、「日本のグローバル化と中国」、「新政権

と日本経済」、「リスク・コンプライアンス事例を踏まえた最近の動向・傾向～」等を行いました。

2014年度は、2015年1月28日に、スポーツジャーナリスト青島健太氏を講師とし「組織を活かし、人を育てるマネージメント」のテーマで講演会を開催し、100名が受講しました。

講師のスポーツ指導者・監督を数多く取材した経験から、人の育て方、活力ある組織のつくり方について講演されました。特に、ソーシャルスタイル理論による行動スタイルや、組織の考え方は大いに参考になり、好評でした。



2014年度 基礎教育講座



2014年度 社会・経済講演会講師の青島健太氏



2014年度 社会・経済講演会

日本エレベーター協会委員会及び支部の紹介

技術委員会活動紹介

1. 委員会概要

- (1)委員会名：技術委員会
- (2)参加会社：19社
- (3)活動計画：
 - ・世界標準を考慮したJIS制定活動
 - ・国際会議への参画推進
 - ・国土交通省、他業界との技術的な協議
 - ・JEAS制定の審議、承認 など

2. 活動内容紹介

- (1)主な会議開催日：1回／月（第2水曜日）
- (2)技術委員の全体集合写真



※当日都合により欠席された委員もあり、委員全員の集合写真となっていませんのでご了承ください。

(3)最近の活動内容・活動テーマ

技術委員会は、下部組織の委員会も含めて150名の委員で構成される当協会内の最大組織の委員会です。下部の組織の主な委員会は、ISO/TC 178/WG4・6専門委員会、エレベーター機械技術専門委員会、エレベーター電気技術専門委員会、規格・標準化専門委員会などがあり、更にその下部には特別委員会も擁しています。

技術委員会の活動は、活動計画で提示した規格制定関連が中心であり、JIS関連の委員会活動のほか、下部の委員会から提案されるJEAS(エレベーター協会標準)案の審議や承認、発表資料の技術的な査読などを行っています。

一方で、日常様々なところで発生する案件や、それに連動した官庁や自治体の要請に対して、対応方針や活動スケジュールを決定し、下部組織の委員会に検討を依頼又は新たに期限付きの委員会を立ち上げるなどして、技術的な問題に対処する役割を担っており、重要な活動要素となっています。

3. 活動実績紹介

2014年は、2011年3月11日の東北地方太平洋沖地震に対応した建築基準法施行令の改正及び関連告示に関連する「昇降機技術基準の解説2014版」の作成と発行に対し、主導的な役割を果たしました。地震に対しては更に、地震被害の調査や釣合おもり、長尺物に対する引掛り防止対策の検討を行って技術レポートに纏めました。又、2006年に発行された昇降機の検査標準JIS A4302に対し、その後発行された定期検査業務基準書との重複部分の削除等を中心に改訂を進めており現在その最終段階にあります。更に、昇降機規格の国際標準化を目指し、ISO国際会議への参加を支援すると共に、JIS化検討委員会によるISOのJIS化の検討にも主導的な立場で取り組んでいます。

4. 委員会のPR

本委員会は、技術的内容の議案に関して、理事会承認前の最終確認を行う委員会です。それだけに、その責任は重く、この委員会で審議しなければ議案は上程できません。これからも最終的な砦として、また良識の府として、その役割を果たしていきます。

5. その他

技術委員会の活動は、非常に多くの会員と会員会社皆様に支えられて運営できており、これからも昇降機の安全・安心に貢献してまいります。